

令和5年7月号

ゆう's ねっと

つくり すこしずつ行こまいか

ENA

発行／恵那市青少年育成市民会議 第44号

## 第19回 恵那市少年の主張大会

6月10日(土曜日)、恵那文化センターで、第19回恵那市少年の主張大会を開催しました。市内8中学校の代表生徒が熱い思いを発表する様子は、YouTube 恵那市公式チャンネルで生配信されました。審査の結果、明智中学校の伊藤百音さんが最優秀賞に選ばれました。最優秀作品全文と、優秀・奨励賞作品の要約を紹介します。



様々な歴史の中で生まれ、先人より受け継がれてきた日本の美しい文化「伝統芸能」。現代の日本において、各地でその地域に根付いた様々な伝統芸能が、今なお引き継がれています。

今年の春、私は日本PTA全国協議会が主催する国内研修事業で、岐阜県代表として沖繩県に行かせていただきました。その研修では、沖繩の文化体験プログラムで、沖繩県立南風原高等学校の生徒による「エイサー」が披露されました。エイサーとは、本土の盆踊りにあたる沖繩の伝統芸能のひとつで、主に旧盆の夜に踊りながら地域を練り歩くものです。昔から引き継がれてきたエイサーは、歌に合わせたしなやかな踊りや、太鼓などを使った力強い踊りがあり、たくさんの方が驚かされます。様々な踊りを見ながら、私は心が動かされました。今現在、沖繩に住んでいる学生の人達を中心とって、文化を継承するために活動している姿を見て、昔から大切にされてきた地域の美しい伝統芸能を絶やさず次の世代に受け継いでいけることがひしひしと伝わってきたからです。若い人がエイサーを引き継いでいる姿を見て、私が住む恵那市でも、「地歌舞伎」が引き継がれているということが頭に浮かんできました。

私は去年から明智歌舞伎保存会で歌舞伎に参加させていただき、地域の伝統芸能に触れています。参加しようと思ったきっかけは、母に「歌舞伎の体験があるみたいだからやってみよう」と聞かれ、まだやったことのない新しい経験が自分にもできると思ったからです。恵那市内で先人が残してくれた、かけがえのない地域特有の芸能に触れてみて、生み出された時代の背景や、込められた感情が、踊りや演技を通して伝わってきて、まさに歴史そのものを体験しているように感じています。

しかし、このような伝統芸能にも、少子高齢化により、伝統を引き継ぐ人が減っているという問題があります。私はこのことを知り、この現状を



最優秀賞

見て、知って、広めて、引き継いで

明智中学校 3年生  
伊藤 百音

解決できる方法がないか考えました。そこで考えたことは、地元の子供が、積極的に伝統行事に参加したり体験したりすることです。地域で開催される祭りや行事で、たくさんの子供が伝統的な踊りなどの伝統芸能を披露することで、行事や祭りを訪れた地域の人、そして他の地域からの来訪者にも認知され、興味をもってもらうことができそうです。実際に私の住む明智町でも、このような取り組みが行われています。その一つが「光秀音頭」です。五月に開催される光秀祭りで中学生ボランティアによる踊りの披露、明智小学校の運動会で、全校生徒による踊りの披露などを通して、光秀音頭を広めています。

伝統芸能を実践に見た人の中で、面白い、また見ようと思う人が半分。さらに自分もその芸能に関わってみようと思う人がその五分の一。そして、次は自分が教える側に立ち、引き継いでいこうと思う人が、さらにその五分の一ほどであるということ。沖繩の研修のときに聞きました。伝統芸能を実践に見た人の中のごく僅かしかいない、「自分が教える立場になる」という考えの人が増えない限り、伝統は引き継いでいけないのです。自分が教える立場になろうと思える人を増やすためには、まず伝統芸能を「見る」機会が必要です。だからこそ、より地域の人の目に留まりやすさ、お祭りや地域の行事などで発表していくことが大切だと思えます。そのために、私はこれからも地域の様々な伝統芸能に触れ、披露し、地域の財産として残していけるようにしたいです。

今、この瞬間にも、絶えようとしている伝統芸能が、日本にはあると思います。先人たちにより昔から引き継がれてきた日本の財産を、私たちの手で守り、絶やすことなく次の世代へと一緒に引き継いでいきたいと思います。私たちにはその力があるはずです。

## 優秀賞 (3名)

※発表順

自分らしく  
いきるために

惠那東中学校  
3年生 三浦 桜穂

私たち一人一人、自分らしく生きるために必要なことは、他者の個性を認める心だ。人と違うことは自分の個性であり、「自分らしさ」だ。みんなが先ずその価値観を認め合い、「自分らしい」って最高だ!」と思える世界の実現を心から願って、私は「いいね!」の心を大切にしていこう。

誰でも関われる  
世界

惠那西中学校  
3年生 川上 真緒

障がいをもった子が急にとった行動で、驚いてしまう、抵抗してしまう人がまだまだ多い世の中。でもその子たちから逃げないで欲しい。周りの人たちが、障がいをもった子をもっと理解してあげて、自然に手を貸してあげたりできるようになればいい。みんなが誰でも関われる世界に一刻も早くなることを願う。



## 家族のかたち

上天作中学校  
3年生 松浦 美夕

私は父子家庭で育った。私は父がとても大切な存在。ひとり親家庭で暮らしている皆さんへ伝えたい。我慢せず親へ話してみてもいい。親が受けとめてくれる、そのことで自分が変われることもある。この社会では様々な家族のかたちがある。お互いに受け入れ合うこと、言いたいことを言いあえることが大事だ。

## 奨励賞 (6名)

※発表順



## あたりまえに感謝を

岩田中学校  
3年生 深萱 雅榮

何一つ永遠なんてものはないのだ。今、この時間を生きていることは、紛れもない奇跡である。あたりまえの毎日は、「ありがとう」という感謝の日なんだ。今、私がやらないといけないことは、後悔しないような人生を送ること。身近な人の存在や周りの環境をあたりまえなんて思わないように感謝したい。



## 多様性の尊重

山岡中学校  
3年生 杉山新之介

自分の価値観を一度手放し、他の意見を理解し尊重することで、新たな発見がある。異なる意見のそれぞれの良さや欠点を生かした、最善の案が生まれる可能性もある。「多様性」それは人によって異なる様々な答え。様々な考えや個性を認められる「多様性の尊重」がこれからの人々の暮らしを創っていく。



## 人だからこそできる

惠那東中学校  
3年生 後藤 彩花

最近AIが目覚ましい発展を遂げている。人間の仕事はすべてAIが行うようになるのか。私はそうは思わない。社会の発展のためには人間とAIと両方が必要。必ず人間でしかできないことはあり続ける。これからは「私にしかできないことは何だろう」と考え、人間としての自分を磨き上げていくことだ。



## 自己判断の大切さ

惠那北中学校  
3年生 池戸 響

「周りの人が外したら外します」マスクの着用が自己判断になったことに対するニュース。日本人の多くは「右にならえ」という考え方を持っている。すべてを真似する依存ではなく、自分で考え判断する「自己判断」を大切にしていきたい。そんな生き方が、社会を生きぬいていく上で、求め、求められることなのではないか。

便利な生活は本当に  
良い生活なのか

惠那西中学校  
3年生 曽我 錬矢

SNSはとても便利なものだと思っている。普段の暮らしを便利な生活にするものは私たちにあって、切っても切れないもの。そんな便利の中に潜む危険性を理解せずに使い続け、過剰にしていることがどれだけ危ないことなのか気付いてほしい。正しく使いこなすことによって、初めて便利な生活は良い生活になる。



## 可能性を切り拓く

甲原中学校  
3年生 中垣 歌歩

歴史ある中山太鼓が今、なくなってしまうかもしれない危機にある。理由は「少子高齢化」。私は中山太鼓保存会少年部のリーダーになった。価値ある伝統を、地域特有の文化を、絶対に絶やしてはいけない。伝統の継承に対する思いを強く持ち続け、決してあきらめなければ、可能性の幅は必ず広がる。

## 寄せられた感想

● 現実を素直に見つめ、将来どう伝えていけばいいのか、将来はどうなるのか、はっきりした主張を持っていました。私たち大人はもっと耳を傾け真剣に取り組んでいかなければいけないと感じさせられました。  
(山岡町・60代)

● 今日のテーマ、話題が取り入れられた内容が、とても心打たれるものが多いこともありました。中学生なりに、現代社会のかかえる課題を自分の家族や身近なところから見て、その事を発表の中で自分の言葉で伝えることができ、大変感動しました。  
(中野方町・60代)

● 全ての学生さんの素晴らしい考え方に感化されて、私も日々研鑽しようとして決心しました。  
(長島町・40代)

● これからも自分の思いを伝えていける人に成長してほしいと思う。  
(上天作町・50代)

● 大人に語りかける姿はとても立派で、自分の考えを堂々と話す姿に素晴らしいと感じました。この主張大会で終わるのではなく、ぜひ他の場にも広げていきたいと思います。  
(瑞浪市・30代)



# 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

毎年6月20日から7月19日は、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間です。

「うちの子には関係ない」と思っていませんか？

## 薬物乱用は身近な問題です

薬物乱用とは「決められたルールを守らないで、薬物を使用すること」です。たとえ1回の使用でも薬物乱用にあたります。また、薬物は法律によって厳しく取り締まられています。

薬物乱用はなぜ危険なのでしょう？ それは、「脳」に悪影響を与えるからです。薬物を乱用すると脳の仕組みにダメージを与え、乱用が続くと様々な障害を引き起こします。そして、一度ダメージを与えられた脳は、決して元の状態には戻りません。特に成長期にある青少年の脳は成人に比べて影響を受けやすいため、注意が必要です。

### 大麻で検挙される若者が急増中！

ここ数年、大麻による検挙者が急増しています。2021年には過去最高の5,783人となり、そのうち68%は30歳未満の若者でした。20歳未満の若者は1,000人で、7年前と比べて12倍以上に急増しています。

きっかけは軽い気持ちから…

好奇心

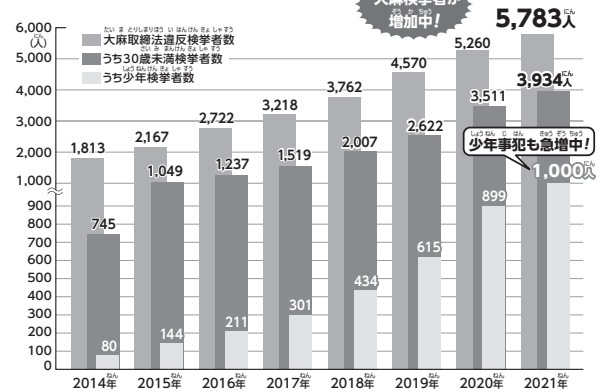


ストレス発散

雰囲気

興味本位

【大麻取締法違反検挙人員の推移】



出典：厚生労働省・警察庁・財務省・海上保安庁の統計資料より

### SNSによる誘いに注意！

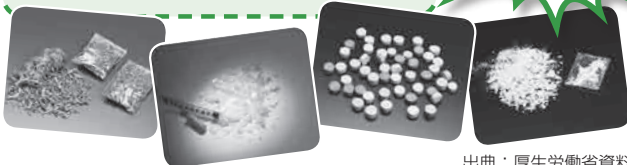
近年、薬物が密売買される手段として危険が拡大しているのがSNSです。SNS上では大麻を意味する隠語などが使われ、大麻などの購入を促す内容が多く投稿されています。青少年の身近にあるスマートフォンやパソコンを使って、インターネットから危険な薬物が簡単に入手できてしまいます。実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件が起きています。

SNSを通して違法薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。もしそのような投稿を見つけても誘いに乗らないようにしましょう。

#### 違法な薬物に使われる「隠語」の例

大麻 野菜/クサ/ハッパ/チョコ  
覚醒剤 アイス/氷  
MDMA パツ/タマ  
コカイン チャリ/自転車/コーク など

名前に惑わされないように  
気を付けましょう



出典：厚生労働省資料

### 青少年を薬物乱用から守るために

青少年を薬物乱用の危険から守るためには、大人たちが日々様子を注意深く見守ることが大切です。青少年が、自分自身を大切に、もし誘われても断る勇気を身に付けさせましょう。

#### □家庭でできるチェックポイント□

##### 子どもの言動の変化をチェック！

- 帰宅が遅くなることが多くなった。
- 理由の分からないお金を欲しがようになった。
- 食事を家族と一緒に食べなくなった。
- 目を合わせて会話をしなくなった。

##### 子どもを取り巻く環境をチェック！

- 子どもにスマートフォン等を持たせている。
- 子どもにインターネットにいつでも接続できるパソコンを使わせている。
- 子どもの友達関係がよく分からない。

うちの子に限って…と油断せず、十分に注意して見守りましょう

### 身近にある、頼りになる相談窓口

- 恵那警察署 電話 0573-26-0110
- 恵那保健所 電話 0573-26-1111 (代表)
- 更生保護サポートセンター恵那 (恵那保護区保護司会)  
電話 0573-25-6010 (火・木・土曜日の午前9時～正午)

紙面作成にあたり次の資料を参考にしました。

- ◆厚生労働省啓発資料「子供のまわりには危険がいっぱい」(小学6年生保護者向け)(令和4年度)
- ◆厚生労働省啓発資料「薬物乱用防止読本「健康に生きようパート36」(青少年向け)(令和4年度)

薬物乱用についてさらに詳しく知るには



厚生労働省  
ホームページ



政府インターネット  
テレビ



岐阜県  
ホームページ

# 町民会議の活動

## 串原

5月20日(土)に「親子で苗植えをしよう!」を開催しました。この活動は、畑ではさつまいも、田んぼではもち米を育て収穫する体験を行うものです。

今回は小中学生親子40名、学校の先生13名、青少年健全育成実行委員15名の計68名が参加しました。田んぼに入るのが初めての子どもや保護者もいて、泥に足を取られて動けなくなってしまう場面もありました。泥だらけになりながらも「楽しかった」「泥の感触が気持ちいい」などと、汗を流して植え付けを行いました。

### ～串原推進員の感想～

秋には収穫の喜びを体験する「親子で収穫しよう」を開催予定です。大きく育ってくれることを期待しながら準備を進めていきます。



## 笠置町

5月27日(土)に「げんきたなんじゃもんじゃウォーキング」を行いました。目的地は笠置山のヒトツバタゴ自生地。国の天然記念物を見ようと、1年生から6年生までのたてわりグループで約3kmの道のりを歩きました。

山道をグループで励まし合いながら歩き、参加者全員が目的地まで到着することができました。

ふるさとの宝物“なんじゃもんじゃ”が咲いているのを見て、疲れも吹き飛ばすほどの感動でした。保護者の参加も多く、とても楽しい一日になりました。



### ～笠置町推進員の感想～

この行事に協力していただいた恵那市観光協会笠置支部や青少年育成町民会議、地域の皆様、ありがとうございました。



## 中学生の皆さん!-市子連の活動に参加してみませんか!

恵那市子ども会指導者連絡協議会(恵那市子連)では、子ども会同士の交流などを目的に、親子サマーキャンプやドッジビー大会、かるた取り大会などの活動を行っています。

一緒に活動をお手伝いしてくれる中学生ボランティアを募集しています。まずは気軽に参加してみませんか。

### ○今年度の活動(予定)

7月30日(日) 親子サマーキャンプ 場所:望郷の森キャンプ場(中野方町)

11月26日(日) ドッジビー大会 場所:まきがね公園体育館

2月4日(日) かるた取り大会 場所:大井小学校体育館

### ○お問い合わせ

恵那市子ども会指導者連絡協議会事務局(生涯学習課) TEL0573-26-2111(内線474)



親子サマーキャンプ



ドッジビー大会